

政務活動費（創世下関）出張報告書

令和元年 11月 9日

氏名 亀田博、吉田真次、井川典子 吉村武志、濱崎伸浩、阪本祐季	研修会等題名 第81回 全国都市問題会議
期間 令和元年 11月 6日から 令和元年 11月 8日まで	研修会等会場 鹿児島県霧島市国分体育館

調査事項・意見

第1日 11月7日(木)

- 基調講演 鹿児島県の歴史から学ぶ防災の知恵
志学館大学人間関係学部教授 原口 泉
- 主報告 霧島市の防災の取組—火山防災—
鹿児島県霧島市長 中重 真一
- 一般報告 災害とコミュニティ：地域から地域防災力強化への答えを出すために 尚綱学院大学人文社会学群長 田中 重好
- 一般報告 平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取組について
広島県広島市長 松井 一實
- 一般報告 火山災害と防災
防災科学技術研究所火山研究推進センター長 中田 節也

第2日 11月8日(金)

- パネルディスカッション テーマ：防災とコミュニティ
- コーディネーター
追手門学院大学地域創造学部地域創造学科長・教授 田中 正人
- パネリスト
専修大学人間科学部教授 大矢根 淳
香川大学地域強靱化研究センター特命准教授 磯打 千雅子
霧島市国分野口地区自治公民館長 持留 憲治
静岡県三島市長 豊岡 武士
和歌山県海南市長 神出 政巳

基調講演、報告は実際に災害に対応した経験のある方の話で臨場感があった。またパネルディスカッションではそのような場所を調査、研究して具体的な防災の仕組みについての議論だったので大変参考になった。

個々人の自助を基本としつつ、行政による公助、コミュニティによる共助が相互に機能し、総合的な取組がなされてこそ、災害に立ち向かい、乗り越えることができるのではないかと、という視点から防災とコミュニティについて議論を進めた会議であった。